

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<p>通常業務の中では話すことのない学生や教員と議論をできたのは、貴重な体験でした。大半の職員にとって、ここで議論した内容が直接業務に役立つことはほとんど見込めませんが、大学という教育機関に勤めている以上、どのような学生がいて、学生が何を考え、何を求めているのか、生の声を聞く必要があります。</p> <p>議論のテーマに関わらず、全ての学生・教職員が当事者意識を持つことが重要なのだと感じました。</p>
<p>②共催した学生 F D グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>大勢の見知らぬ学生・教職員の前で議論を進行し、まとめ、発表をする姿勢や能力には驚きました。こうした活動を学内外で広げるとともに、そこで得た経験を自身の学生生活や卒業後の生活にも十分生かしていただきたいと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

【提出期限】平成 24 年 7 月 31 日（火）

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<p>学生の方が大学の運営に対し、積極的に参加しようと考えていることにとても感激いたしました。このような機会を設けて、意見を交わすことは大変重要なことだと思いますので、今後もこのような企画を通して、学生・教員・職員それぞれの意見が大学の運営に反映されるようになることを期待いたします。</p> <p>話し合いの内容としては、学生から提案されたテーマですので、授業の内容や学務的な事柄が中心で、少し回答しづらいところもありました。</p>
<p>②共催した学生 F D グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>お忙しい中、このような貴重な機会を企画していただき有り難うございました。普段聞くことのできない学生の生の声を聞くことができ、大変有意義な会でした。職員目線では気づきにくい意見も多々あり、今後の参考にさせていただきたいと考えております。</p> <p>ぜひこれからも積極的に活動していただき、本学がより良い大学となるよう議論を深めていければと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>「学生との話し合いの場が欲しい」という意見は、これまでのアンケート結果でも多く見られていたので、実施していただけたことをうれしく思います。とても貴重な体験をすることができました。</p> <p>初の試みであり苦勞されることも多いかと思いますが、今後も定期的で開催していただければ有り難いです。</p>

【提出期限】平成 24 年 7 月 31 日（火）

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none">・中途半端なおしゃべりで終わるような雰囲気がある。それでは不満のガス抜きに終わってしまうようで残念である。何でも良いので、具体的な建設的提案が出るまで、もっと突っ込んだ議論が必要だと思う。・そのためには、圧倒的に時間が足りない。本イベントを進めることが当初の目的よりも先に来てしまっている感がある。・また一方で、このような場への参加に前向きな教員が少ないことが実は重大な問題である。
<p>②共催した学生 F D グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>どの学生も、前向きな議論を積極的に行なって欲しい。特定の人を除き、学生はおとなし過ぎると感じた。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none">・テーマは何でも良いので、じゅうぶんな時間の中で、具体的な建設的提案が出るまで、もっと突っ込んだ議論をして欲しい。・教育が重要という認識であるのなら、当然のことながら、多くの教員の参加を強く促すべきである。

【提出期限】平成 24 年 7 月 31 日（火）

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<p>「しゃべり場」へは初めての参加でした。ふだん窓口対応をしても、なかなかゆっくりと話す機会のない学生のみなさんと、成績評価の透明性や受講調整の問題点について話すことができ、とても貴重な機会となりました。「しゃべり場」で、すぐに明確な答えが出るわけではないけれども、教職員と学生が同じテーブルで議論することで、認識のずれを埋めたり、理解を深めたり、そういう過程はとても貴重なものですし、大切なことだと思います。もちろん、改善が必要な点については、事務としてできる限り対応したいと思います。</p>
<p>②共催した学生 FD グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>今回は貴重な機会をありがとうございました。ファシリテーター役、とても上手で驚きました。何か研修など受けられたのでしょうか？ただただ感心しておりました。</p> <p>職員のなかには、学生のみなさんと接する機会のない部署で仕事をしている職員もおおり、学生のみなさんとコミュニケーションをとりたい、交流する機会がほしい、という声を聴きます。</p> <p>また「学びのひろば」×「学生 FD グループ」で共同の企画ができるといいな、と思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>—</p>

【提出期限】平成 24 年 7 月 31 日（火）

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①□ 第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<p>私は「居場所づくり」をテーマに話をさせていただきました。始めはあまり意見が出ていないように感じたのですが、徐々に意見が出るようになり、学生さんの本音や職員や教員の方からの専門的な意見を聞くことができました。中でも「目的を持って集まること」が居場所作りに繋がるという意見は非常に興味深く感じ、もう少し時間を使い、より深い話ができればより良かったかなと思いました。また、普段、学生さんと接することが少ない部署に所属していることもあり、学生さんの本音は非常に興味深く感じました。</p>
<p>②共催した学生 F D グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>準備や多くの職員や教員の方がいるところでの進行はとても大変だったと思いますが、私にとってとても貴重な機会となりました。素敵な機会を提供して頂き、ありがとうございました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>○今回のようなディスカッション形式では、1 グループの人数をもう少し減らした方が良いように感じました。（大人数になるほど発言し辛くなってしまうと感じたので。）</p> <p>学びのひろば運営スタッフの方々、お忙しい中ご企画・運営ありがとうございました。「学びのひろば」がより本音で話し合える場になってほしいと思います。今後も興味深いテーマでの企画を期待しております。よろしくお願ひ致します。</p>

【提出期限】平成 2 4 年 7 月 3 1 日（火）

平成 24 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回 「しゃべり場（テーマ：大学は何のために行くのか～大学には何が必要か～）」 についての感想</p>	<p>最初たくさんの学生がいて驚いたが、学生との初めての共催ということで、意義が大きいと思いました。画期的ですばらしいと思います。私は、評価と、居場所のディスカッションに 1 時間ほど参加しました。居場所のグループででた「ぼっち弁当」は、知らない言葉でしたので、勉強になりました。所用のため最後までいなかったのが残念ですが、興味深い企画です。ふだん、ゼミや講義で学生と頻繁に接しているはずなのですが、今回のような形で接するのは、新鮮です。ふだんのゼミの飲み会でも聞けないような意見が出てきました。</p>
<p>②共催した学生 F D グループへのメッセージをお願いします</p>	<p>上に書いたことと、同じですが、たいへん有意義な機会であったと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>もう少し多くの教員が参加するとよいと思います。それは私たち教員側の広報の課題となりますが。</p>

【提出期限】平成 2 4 年 7 月 3 1 日（火）